

対象国の条件:

研修コース番号:(A)201984474-J002/(B)201984475-J002

案件番号:(A)201984474/(B)201984475

主分野課題:水資源/都市給水

副分野課題:

使用言語:(A)英語/(B)英語

案件概要

上水道システム計画に関与する中心的技術者を対象として、中・大規模水道事業者が、安全な水道水を安定的に供給するための施設設計・施設維持管理について、総合的な技術に関する知見を高める。また、ここで得られた知見を活用し、自らの水道事業者が抱える課題を明確化し、その解決に資するアクションプランを作成する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】
中長期的計画を踏まえた水の安全・安定供給に必要な水道システムの構築について学ぶ。具体的には浄水処理と配水管網などの基本設計手法を学ぶ。更に、自らの水道事業者の運営上の課題を明確化し、その解決に関するアクションプランを作成する。

【対象組織】
水道事業者や中央/地方政府において水道事業の計画や設計の権限を有する機関

【成果】
(1)水源・取水
給水計画、水源・取水に関する技術と知見を深める。
(2)浄水・水質
浄水処理・水質管理に関する技術と知見を深める。
(3)導送配水
漏水対策、給配水に関する技術と知見を深める。
(4)管理・経営
水道事業、管理行政に関する諸制度や関連団体の機能・役割について知見を深める。
(5)水道基本計画
配水管網ならびに浄水処理システムの基本計画の策定ができるようになる。

【対象人材】
(1)水道事業者、国政府、地方政府において水道建設計画の策定を担当する職員、若しくは携わる見込みの者
(2)過去に水道に関する職歴が3年以上の技術者
(3)工学系(土木、衛生、環境)大学卒業者又はそれと同等の資格を持っている者

内 容

【討論】 カントリーレポート発表
【討論】 アクションプラン作成・発表
【講義・視察】 日本の水道に関わる行政制度、事業者の中長期的事業計画策定時の留意点、水道経営と水道料金、官民連携、水道資機材製造工場の見学、公衆衛生研究機関の役割、災害対策
【講義・視察】 浄水処理概論、配水施設の運転管理、漏水防止対策
【演習】 水理計算、水需要予測、水道基本計画
※なお、本研修では、研修を通じた「知識共創(Knowledge Co-creation)」の実現を図るために、アクティブラーニングメソッドを導入予定です。

本邦研修期間

(A)2019/5~2019/7
(B)2019/5~2019/8

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

(A) JICA東京(経済環境)
(B) JICA北海道(札幌)

関係省庁

厚生労働省

実施年度

2019~2021

主要協力機関

(A)調整中/(B)調整中

**特記事項
及び
ホームページ**

水道事業者からオブザーバーが5名程度参加、講義視察に同行予定。